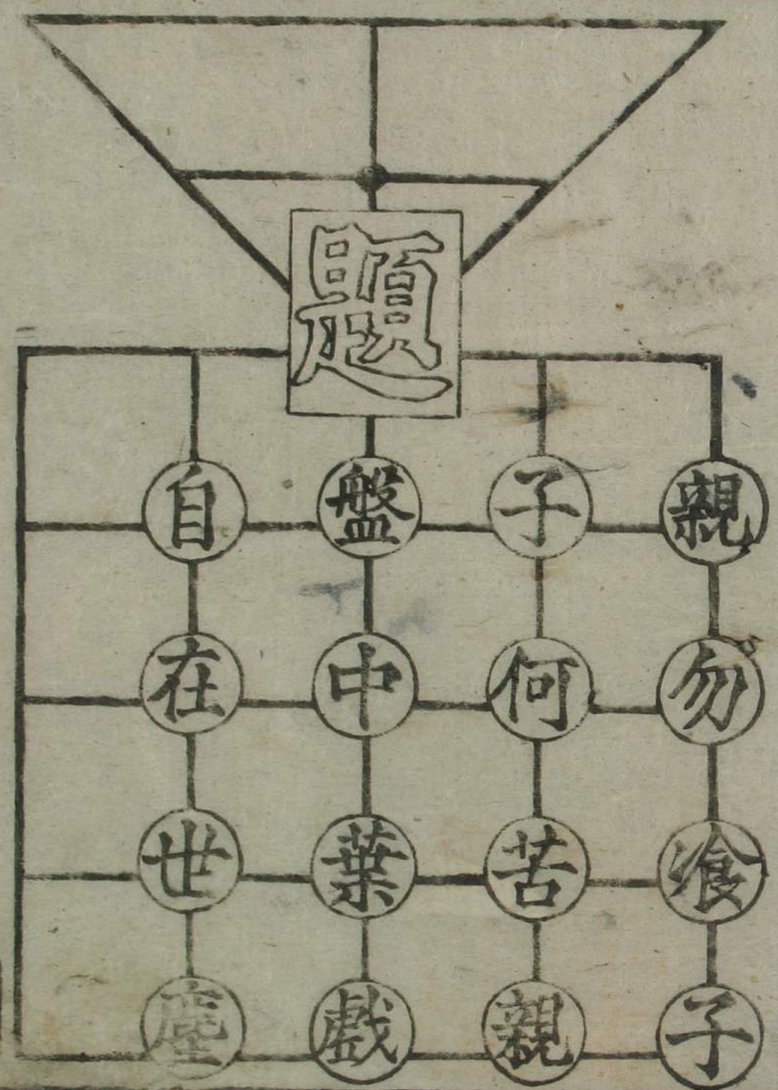
新研十六武藏坊 上

通油町 鶴喜版

宮内庁書陵部
遠
1,230

新續研究六武藏坊



享和上元甲子正月 著作堂馬琴記

門13 號1230 卷

うつくしき成人わや

ようたろてやとぜるる

十二ひさーの巻のあれせちー
まるぐーくるぐーくるぐ成もつくま
ませるーれくもおのたのし
しいひるーものまのそれ
やくふさらーろとのちに
らくとろはおのらちる
りものまぶふさすら
ろくのちるれとるはおの
のまむるりらしちゆーふ
てもでもどいやとろくも
ふさるものいすーも
ちーこりいりくんどゆ
でーどとるとれもいくま
ものつきひさふとりつき

「ろくえんをろてくんさー」

「めんでーうぐまーち
ゲーてーまちーく
くーるるか
ーーまてくん
いのちもてく
めよやーゆ」

「ろくえんあをはて
くるるりふ
ろまをとて
かくくんる」

「いまゆくくーもろふ
しくくをおびしー
ゆちんでるの
いるぐ」

「ゆくくーとろくくる
ゆーーーーーゆ」

「ゆくくーとろくくる
ゆーーーーーゆ」

「あふくんげまーて成ゆくー」

もろくんのあるまとのくり
くるせーまゆくるもれそるは
でくんるよちーのまふはゆうふ
るふせちーれていゆちもくら
ぬとゆふはゆのはくをこせちそ
らくとちろはゆくるりとり
るーとどもるきくーるゆのーも
のゆーーやいれのりくゆわーて系ふ
まもむひはいくるれこりち
のくーるづんはりい

ちられるう

命
口
口
口
口
口

新研十六武藏坊

中

通油町　鶴喜版

ぬるひふーてをつまもーれあやぶん

おやぶんこぶんのあいさつがつかどたのりいりのいはされどうういよのはなとそうえんがるぶんでんをさぐらはそハるぶんをつくんとすれバこぶんいれげろぐりつのくとてこさぐろをてんぐりのいきんでんんをそハてんぐづれにるろくこんさりんさあたりあこてまも

十六ひさーのありひさ

にくろ

そうこせばこうふげろうれいまふろくくこせろぞ

やまーいこハれぬぶろけてこん二八十六ひさーのあやぶんぐたいつい

ぬるとしろくくもまふぞ

つまーれ人たらぐさーあとかんく

二段てうまく
くらべちやや
乳
せ
ん
ろ
だ
み
し

乳
さ
と
ぶ
ち
き
ち
ち
ち
ち

二八佳人體似酥腰間仗劍
斬愚夫薩埵ふ兄人頭落
晴裡教君胥髓枯

ゆとりの十六まんひと
界ろうて春まつあや
「ふさびいはのくまへごちらを
うけまりそこのごくふそんじまし
ありがたくそうろう
ごりやくこうやら
まいおこうあります
「これいろくごち
そうたのりゆく
すいあいかんらく
おひとつはせりふをる
をびとれもたくさつハ
あらうさうるとんぐそ
とんまつい
「あきみのりほ
りの成ちと
ちつくあさまま
まぜ

そろうはなぬりめと
えんろう
「せんさうでんのまくゝ
おやくいんこと
ひゆろか
おやがひい
まうせーしく
おやのおせんが
たのいでござり
まい
かまくらえびの
ろうスーもよう
ござりまそすが
きくこのすの
めぐいごと
をなよこざ
ござり
まい

花
玉
玉
玉
玉
玉
玉

通
月
月
伝
分
宛
火之番

中手新刻

新研十六武藏坊

下

通油町 鶴喜版

慈
さ
あ
ひ
い

ゆぐんうらなやのやとわくろ
番
ね
す
人
ま
の
い

諸國書付指

ふくろうのぐつまーらおやる

ふくろうのそそぐ

吾
心
馬琴戲作

雜

之

冊